

局地的な豪雨

氾濫危険水位 一気に1m超える

5日夕方から6日にかけて、局地的な豪雨に見舞われた藤島地域では、湯水状態にあった河川が一気に氾濫危険水位を1mも超えました。

京田川（氾濫危険水位3・30m）は6日5時10分に最高水位4・27m、藤島川（同4・20m）は6時20分に5・96mに達し、2年前の2016年8月23日

1時の最高水位5・89mを超え、堤防天端まで数十cmと迫りました。「避難勧告」が東栄地区の千原・関根、藤島地区の三和、羽黒町、広瀬地区の中島等に、「非難準備・高齢者等避難開始」が添川3区と藤島元町、十文字を除く長沼地区、渡前地区の柳久瀬に発令されました。



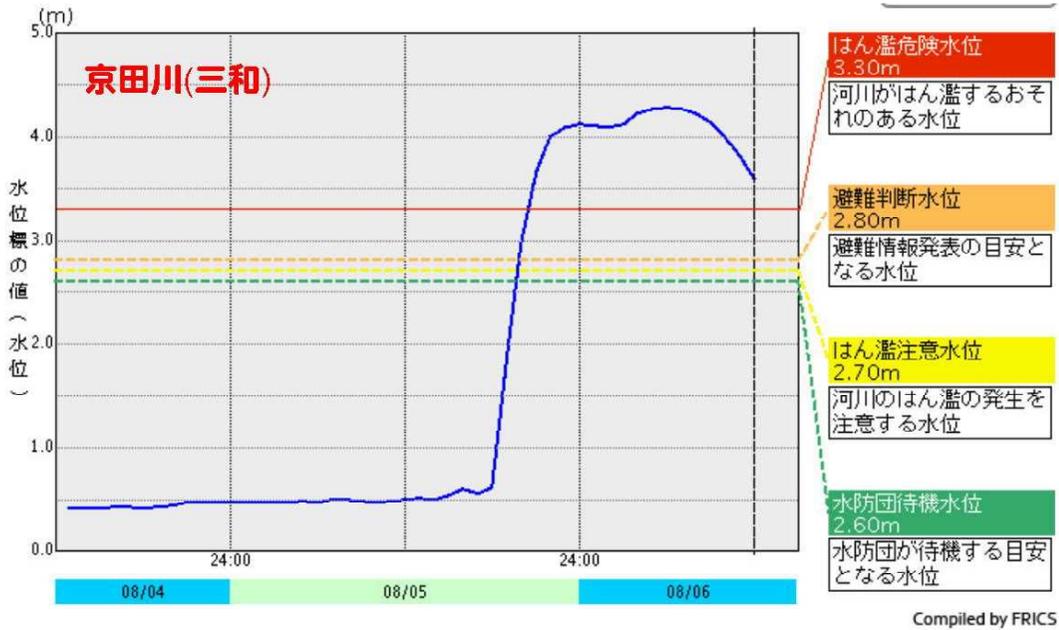
→柳久橋から上流



→藤浪橋から上流



→京田川（関根）から下流



京田川（三和）上流



長沼の彦九郎堰水門

【絵を描く】 あ、海だ！

加藤貞雄（山王町／上平形出身）

海への想いは脳裏から溢れ出てこぼれ落ちるほどだ。

渡前小学校低学年のころ、遠足は「湯の浜」へ。鶴岡駅から庄内交通の電車に乗って大山善宝寺、そして七窪湯の浜へと下って行く。家並みの間に垣間見えた青く光るものが、「あ、海だ！」と誰かが。「海だ！」、「海だ！」。みんなの興奮した声が耳に残っているようだ。

温海地区のある勤務地に向かう途中、由良坂を曲がり下って間もなく民家の屋根越しに広がる青い海を目にした時のワクワク感。しかし高校時代、湯の浜の海での遠泳中、海流に引き込まれ脱出しようともがいた時の恐怖感は今も消えない。

圧巻は何といっても庄内海岸で見る落日の光景だ。世界全体が黄金に包まれ、その中で自分が溶けて無くなりそうに。それに陽のきらめきが水平線の彼方から波に乗って波打ち際の足元までのびてきて……。

冬の日本海もまた凄

ましい。重い鉛色の空の下、あとから、あとから押し寄せてくる大きなうねり、怒濤の波頭、しぶきをあげながら走る白波、まるで何かの意志をもってあばれ狂っているような、捕らえようにも捕らえきれない動き。

晴れた日の穏やかな風、海、青や緑や紫などの複雑な色調に彩られ、その上を潮目が微かに走る。透き通って見える海底の砂や藻、岩など、命を育む海の美しさ。淡彩で描きたい誘惑にかられる。それにしても海を見るときあの興奮、何かを叫びたいようなドキドキ感は一切なんだろうか。

美しさ、解放感、高揚感、あこがれ、包容力……。

しかし、と思う。東日本大震災の大津波の甚大な被害、今なお苦しむ多くの被災者たちを思つと、「あこがれの海」などと甘い感傷に浸っていいのかわからぬ。

（絵は油戸海岸から由良の白山島を望む）



ふじしま夏まつり 雨で屋内開催

第36回「ふじしま夏まつり」が5日(日)、雨天となり藤島体育館で開催、焼肉フェスティバルは中止となりました。



子ども相撲大会



こりす保育園の獅子踊り

旧藤島町との姉妹都市である名寄市から剣道スポ少一行13名が来鶴し、4日(土)、交流大会を開催しました。



田川地区コンクールで金賞受賞した藤中吹奏楽部



庄内産牛乳の試飲と平飼卵の試食コーナー



ライオンズクラブが西日本豪雨災害支援募金



温海の植代ワツパ舞



宮城県栗原市の清水目鹿踊り



名寄市剣道スポ少との交流大会(4日、東栄地区活動センター)

日本人と憲法 NHK世論調査から考える⑤ 憲法9条を評価するが70%

―あらためて憲法を学ぶ 青山崇

「非常に」28%と「ある程度」42%を合わせた『評価する』が70%に上り、「あまり」18%と「まったく」7%を合わせた『評価しない』25%を大幅に上回っている。

この傾向は年代・支持政党・男女でも変わらないが、少し見てみよう。

年代別では、40〜60代が70%を超え、18〜29歳、30代、70代以上が60%後半である。

支持政党別では、与党で67%、野党82%、「支持なし」73%であり、与党67%は少し意外で、

与党支持者にも大いに働きかけよと言っている。

ところが、前回で見たとように、9条に自衛隊明記は賛成か反対かについては、全体では、賛成31%、反対22%、どちらともいえない40%で、賛成が反対を上回るも「どちらともいえない」が最も多い。

憲法改正の賛否と同じ状況である。

その内訳は、40代までの比較的若い層では「どちらともいえない」



逆走台風は

手のひら返しという言葉があるが、困ったことに俺たちはこんなことに2度も遇っている。それは、敗戦を境にした考え方の違いだ。この戦争は聖戦なのだ。そのうち神風が吹く。相手は鬼畜だと教られていたものが、そうでなかった時だ。

▲次が、憲法解釈で集団的自衛権はないんだと長く信じていたものが、憲法の読み方を閣議で変えたという(国民は信じていない)・安倍政権による戦争法の強行だろ。

▲国民の意に添わないことをゴリ押ししてきたこの5年。ある時、不順な天気が続いた時節に俺は「首相が悪いからだ」と言ったんだ。そしたらイキナリ食って掛ってきた人が居たものだった。今回の台風12号にそんな感じ

が半数近くを占め、18〜29歳では54%と過半数に達している。やはり迷っている状況である。

そして、賛成の理由として、「自衛隊の位置づけを明確にすべきだから」が50%を占め、「国際情勢が緊迫しているから」が31%、「将来の9条の抜本的な改正につながるから」が15%で、政府与党の宣伝がある程度浸透していることが見逃せない。

がしませんか。

▲ウソ誤魔化し・隠ぺい・改ざんに、自分を守る村度の組織で誤魔化し通したモリカケ問題などを見れば、台風だつて逆に進むのも政治に做つたものではないだろうかと感ずるのだが、どうでしょう。

結局困るのは国民なのだ。被災された方々にお見舞い申し上げます。

▲逆に、真っ直ぐはつきりで気持ちいいのが、今時・8時過ぎ南の空に見える火星・土星・木星のラインだ。土・木の間にはアンタレスが幽かにあるんだが、月の出ぬ間が見どころ。なんか気持ちちがスッキリするのは俺だけかな。

▲左側の火星は、15年ぶりに大接近の年に当たっているとの事だが、3つとも大きく見えるんだ。ここ何日か無風で寝つきが良くないが、これを見るとナンか落ち着いて寝られるようですヨ。(石川)